



CPA Series CPA1201/CPA1202/CPA2401/CPA2402

120/240/2 x 120/2 x 240 Watt Commercial Mixer Amplifier with
5/8 Inputs, Bluetooth® Streaming, USB Media Player

JP 安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼ TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてます。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用する際の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蠟燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. この装置は、熱帯および/または温暖な気候で使用してください。



警告

デバイスを設置または操作する前に、電気および安全に関する情報について、下部エンクロージャーの外部の情報を参照してください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

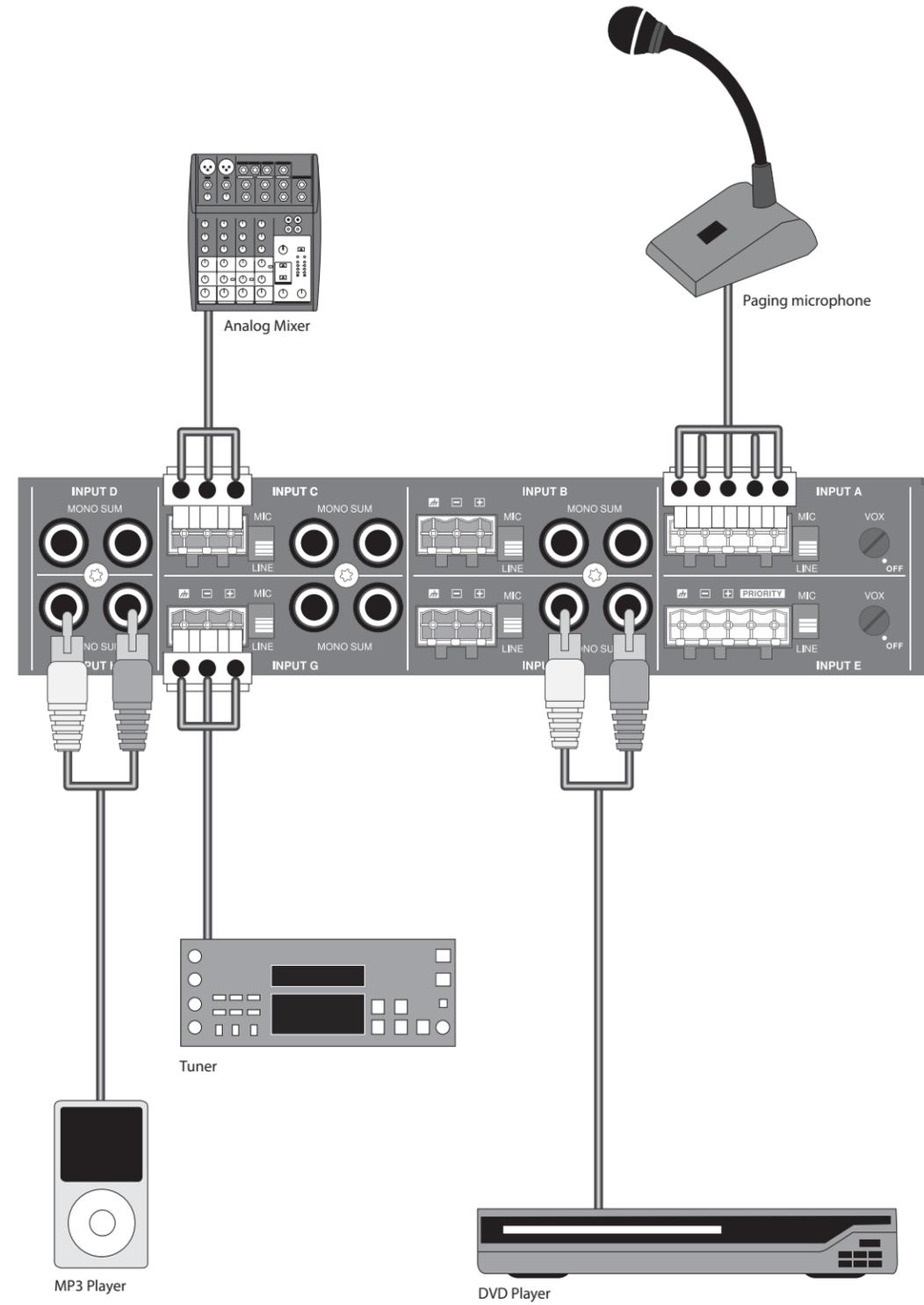
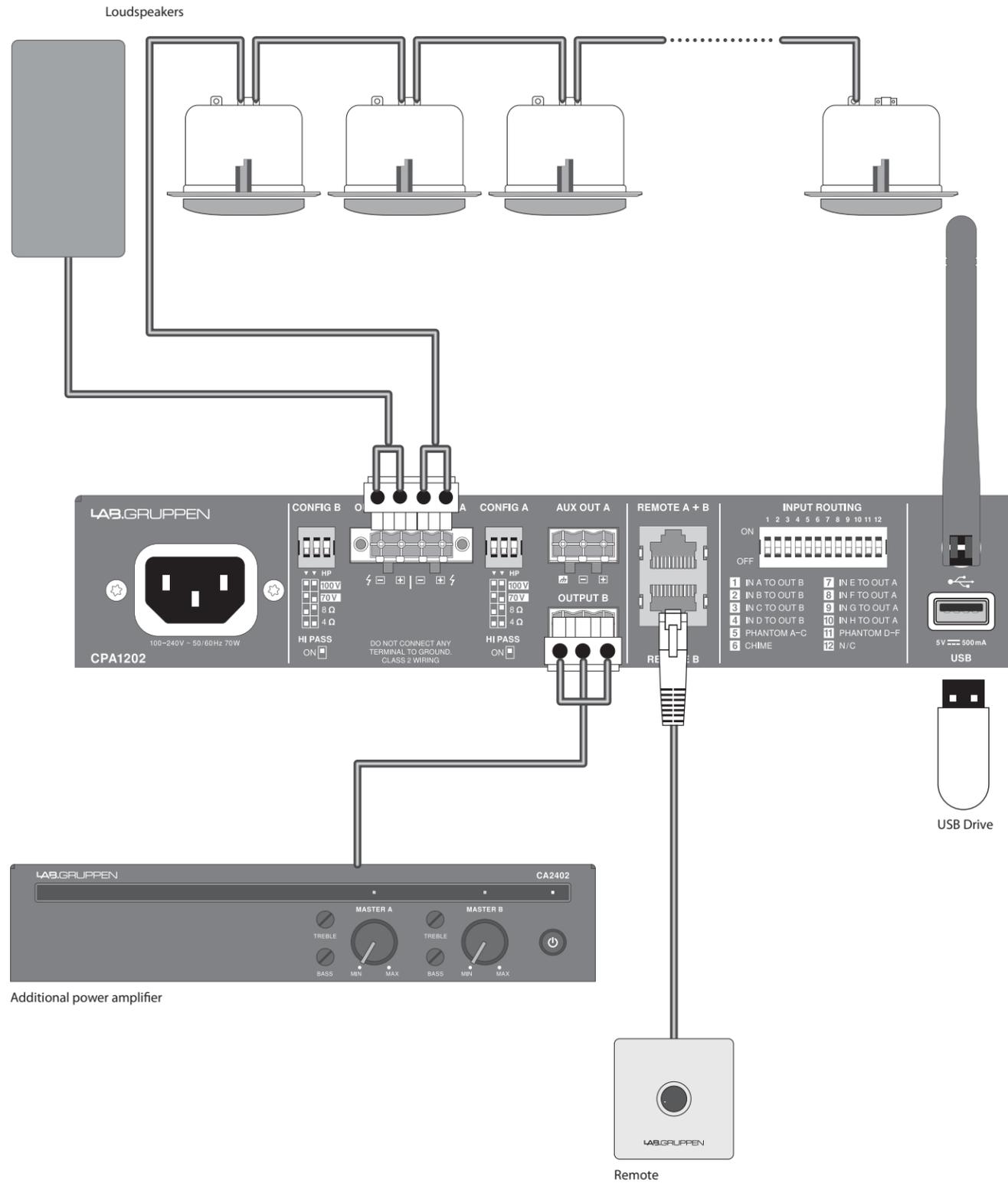
限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

CPA Series フックアップ

JP

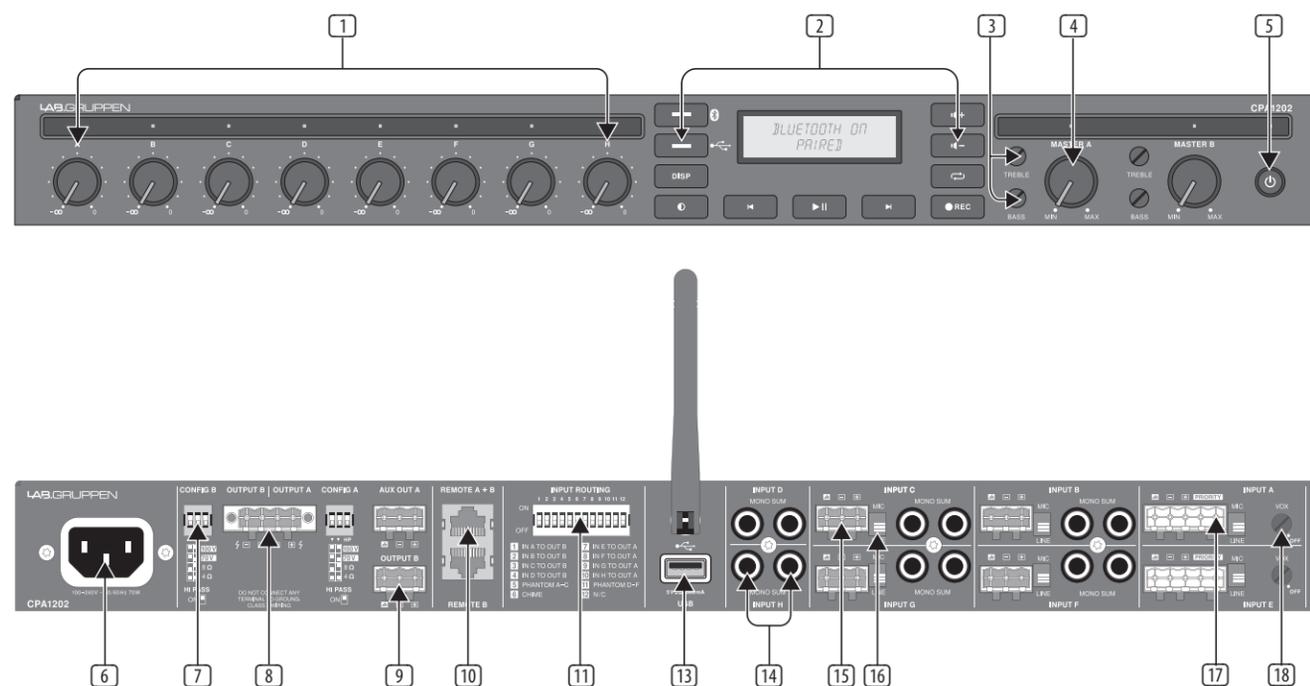
JP フックアップ



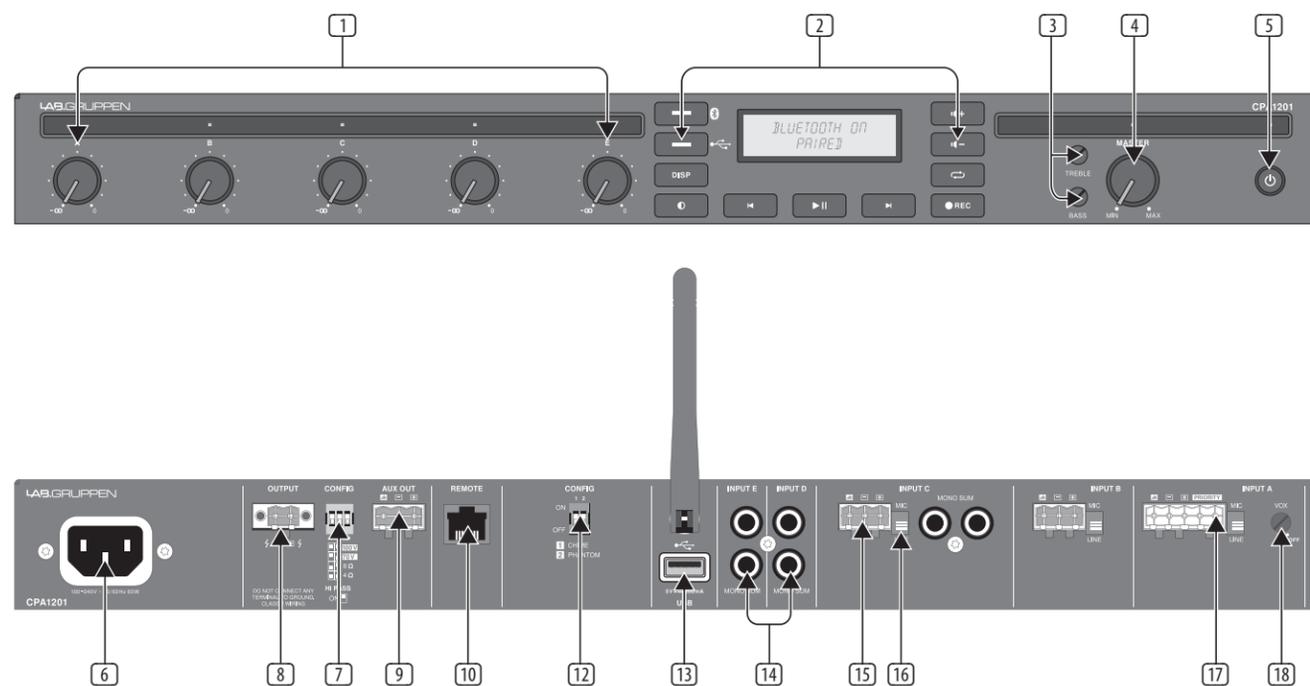
CPA Series コントロール

JP

CPA1202/CPA2402



CPA1201/CPA2401



JP コントロール

- ① **INPUT VOLUME** – さまざまなオーディオソースの音量を調整します。各チャンネルには、アクティブな信号を示すために緑色に点灯し、クリッピングを示すために赤色に点灯する LED が関連付けられています。
- ② **MEDIA PLAYER** – Bluetooth および USB メディアプレーヤーに関連する機能を制御および表示します。詳細については、「はじめに」セクションを参照してください。
- ③ **EQ KNOBS** – マスター出力の低音と高音を調整します。
- ④ **MASTER VOLUME** – 全体的な出力レベルを制御します。関連する LED は、アクティブな信号を示すために緑色に点灯し、アンプの制限/保護を示すために赤色に点灯します。
- ⑤ **POWER BUTTON** – ユニットの電源をオンにして、強制的にスタンバイにします。LED は電源ステータスを示します。
- ⑥ **MAINS CONNECTOR** – IEC ケーブルを主コンセントに接続します。
- ⑦ **CONFIG SWITCHES** – 接続された負荷タイプの出力チャンネルを構成します。詳細については、「はじめに」セクションを参照してください。
- ⑧ **OUTPUT** – スピーカーを接続します。
- ⑨ **AUX OUTPUT** – 追加のゾーンを駆動するためのラインレベルのプリマスター出力信号。
- ⑩ **REMOTE** – チャンネルごとに外部ボリュームコントロールモジュールの接続を許可します。CRC-V シリーズのウォールコントローラーは、個別のアクセサリとして入手できます。
- ⑪ **INPUT ROUTING** – 各入力ルーティングを制御します。(CPA1201 では使用できません) 詳細については、「はじめに」セクションを参照してください。
- ⑫ **CONFIG/CHIME/PHANTOM** – スイッチ 1 は、優先度ミュート機能がトリガーされるたびにチャイム機能を有効にします。スイッチ 2 は 48V のファンタム電源を使用します。
- ⑬ **USB** – USB フラッシュドライブを接続して、オーディオファイルを再生したり、ファームウェアを更新したりします。
- ⑭ **EUROBLOCK INPUT** – バランスマイクまたはラインレベルソース用の 3 ピン Euroblock コネクタを受け入れます。
- ⑮ **MIC/LINE SWITCH** – マイクまたはラインレベルのソースの入力ゲインを最適化します。
- ⑯ **RCA INPUTS** – モノラルに合計されるステレオアンバランスソースの接続を許可します。
- ⑰ **PRIORITY** – 一緒に短絡したときに優先ダッキング機能をアクティブにする追加の 2 ピン。
- ⑱ **VOX KNOB** – 優先ダッキング機能を使用する入力レベルを設定します。

CPA Series はじめに

CPA シリーズクイックスタートガイドへようこそ。これらのミキサーアンプの1つをお買い上げいただきありがとうございます。次のアクセサリが製品に含まれています。

-Euroblock 入力コネクタ

-Euroblock 出力および Aux 出力コネクタ

-フロントアングルブラケット (x2)

-リアフラットブラケット (x2)

-ショルダーネジ付きリアアングルブラケット

-必要なネジとトルクス L キー

-指定された国のバージョンに対応する電源プラグ付きの電源ケーブル

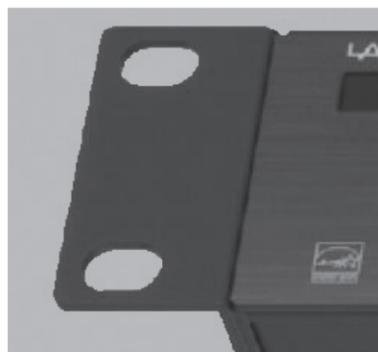
-クイックスタートガイド (このドキュメント)

ラックマウント

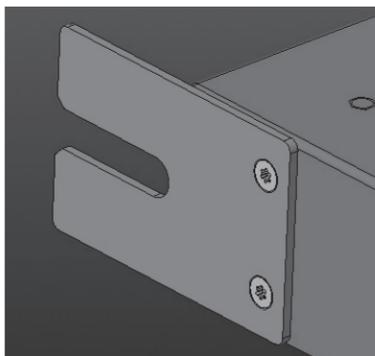
CPA シリーズのアンプにはゴム製の脚が付いているので、追加の設置なしでアンプを透明な面に置くことができます。ただし、オプションのラックマウントハードウェアも提供されているため、19 インチラックエングロージャ内に複数のモデルを収納して保護できます。マウントハードウェアを取り付けるには、次の手順に従います。

フロントアングルブラケットを CPA ユニットのいずれかの側に取り付けます。

シャーシ側の前面ネジを緩めて角度付きブラケットを取り付け、ブラケットと一緒に再度取り付けます。



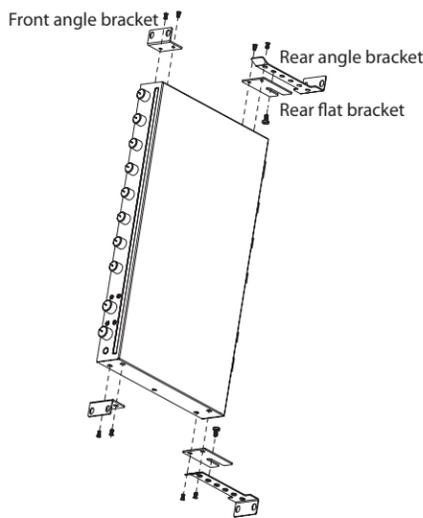
ラックにリアレールがある場合は、シャーシのネジを再利用して、リアフラットブラケットを取り付けます。



フロントアングルブラケットとラックレールに 4 本のラックネジを取り付けて、CPA ユニットのラックに取り付けます。

後部アングルブラケットの 1 つを後部ラックレールまで持ち、後部フラットブラケットの隣に並ぶようにします。まだリアレールには取り付けないでください。

付属の肩付きネジをリアフラットブラケットのスロットに通し、リアアングルブラケットのネジ穴の 1 つに挿入します。ネジは、リアアングルブラケットがフラットブラケットのスロット内で前後にスライドできるようにする必要があります。



他のリアアングルブラケットについても同じ手順を繰り返します。

4 本の標準ラックネジを使用して、リアアングルブラケットをリアラックレールに取り付けます。

必要に応じて肩付きネジを締めます。

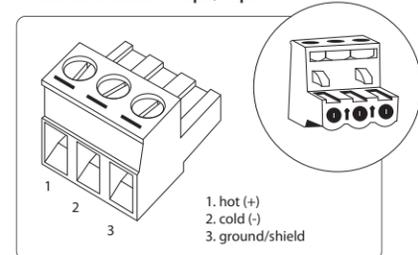
標準ラックネジ: M4 x 8 mm。

CPA シリーズアンプは対流冷却され、主に上面を使用して熱を放散します。要求の厳しいアプリケーションでは、過熱による制限のリスクを軽減するために、アンプの上に十分なスペース (1 RU) を設けることをお勧めします。

接続

バランス型またはマイク入力接続の場合は、Euroblock コネクタに配線された 3 極ケーブル (ホット、コールド、アース) を使用します。入力ゲインを最適化するために、マイク/ラインスイッチを入力横の適切な位置に配置します。または、RCA ケーブルをアンバランスステレオソースに接続することもできますが、RCA 入力と Euroblock 入力を同じ入力と一緒に使用しないでください。ステレオ信号はモノラルに合計されることに注意してください。

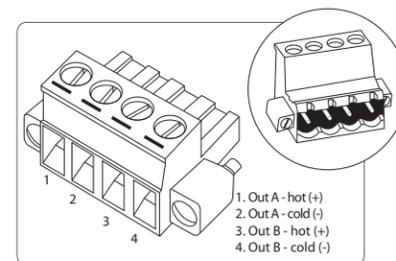
3-Pin Euroblock Connector - Input/Output



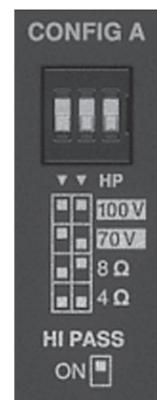
入力からオーディオソースを接続または切断するとき、特に MIC/LINE スイッチから MIC を選択するときは、常にすべてのレベルを最小にするようにしてください。そうしないと、アンプやスピーカーが保護モードになり、損傷する可能性があります。

出力信号の場合は、4 極ユーロブロックコネクタ (CPA1201/2401 の場合は 2 極) をメイン出力コネクタに接続します。端子をアースに接続しないでください。共通のリターンのために、コールド (-) 端子と一緒に接続しないでください。使用目的に合わせて、

構成スイッチを正しい位置に設定してください。50 フィートまでの接続には、14~18 AWG のスピーカーワイヤをお勧めします。



構成

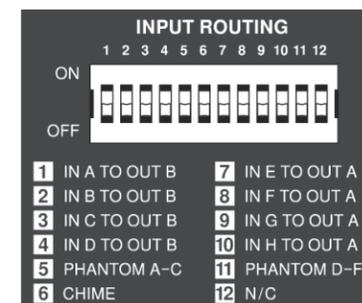


最初の 2 つの構成ディップスイッチを使用すると、出力を 100 V、70 V、8 Ω、または 4 Ω の動作に構成できます。駆動するスピーカーには常に正しい構成を使用してください。動作モードは、出力の最大電圧とデバイスを介したゲインの両方を構成します。

8 Ω 設定は、16 Ω スピーカーのペアまたは単一の 8 Ω スピーカーに使用する必要があります。4 Ω 設定は、4x16 Ω、2x8 Ω、または単一の 4 Ω スピーカーに使用する必要があります。定電圧高インピーダンススピーカーシステムには、70 または 100 V の設定を使用します。スピーカーのパワータッピングとマージンの合計がアンプの最大電力定格を超えないようにしてください。

3 番目のディップスイッチは 80 Hz のハイパスフィルターを使用します。これは、トランス対応スピーカーの飽和を回避するためにすべての定電圧システムで使用する必要がありますが、小さなスピーカーや低音の重いオーディオからのクリアなサウンドを維持するためにも使用できます。

入力ルーティング



CPA1202/2402 ユニットの構成、入力から出力へのルーティングは、入力ルーティングディップスイッチで制御できます。デフォルト (スイッチダウン) では、入力 AD は出力 A にルーティングされ、入力 EH は出力 B にルーティングされます。ただし、両方の出力に送信する必要があるソースの場合、対応するディップスイッチを使用して入力を他の出力チャンネルにルーティングできます。同じように、これは、たとえば、建物の両方のゾーン/セクションにバックグラウンドミュージックまたはページングメッセージを送信し、各ゾーンにローカルな他のソースを維持する場合に役立ちます。

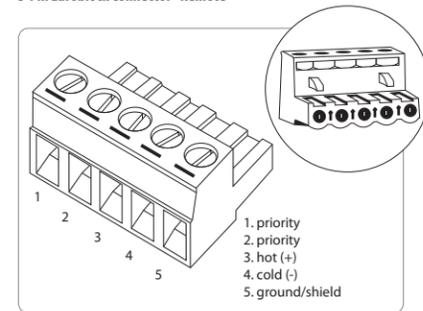
ファンタム電源 (48 V) は、対応するディップスイッチをオンにすることで、チャンネル AD と EH に個別に供給することもできます。

CHIME 機能を使用すると、優先ミュートがアクティブになるたびにチャイム音が鳴ります。

優先度とVox



5-Pin Euroblock Connector - Remote



入力 A および B (CPA1201/2401 の入力 A のみ) には、優先機能がアクティブになっているときに他のすべてのチャンネルをミュートする機能があります。アクティブ化は、ページングマイクでよく見られるクロージャースイッチで 2 つの優先ピンを短絡することによって実現されます。あるいは、アクティブ化は、設定されたレベル (しきい値) を超える優先入力の信号によって実行することもできます。VOX ノブを反時計回りに回すと、ダッキングを行うために必要な入力レベルが設定されます。マイクに向かってはっきりと話すことがこのしきい値を超えるように設定しますが、周囲のノイズは無視されます。VOX ノブを時計回りに完全に回す (OFF) と、この機能が無効になります。CPA1202/2402 の場合、ダッキングは、優先入力と同じ出力にルーティングされる他のすべてのソースに影響します。たとえば、入力 A が出力 B にもルーティングされる場合、入力 A は他のすべての入力よりも優先されます。ただし、入力 E

リモート

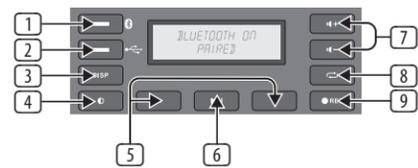
RJ-45 Pin	Color (T568B)	Remote (1 channel products)	Remote A+B	Remote B
1	White/Orange	VCC 10 V	VCC 10 V	VCC 10 V
2	Orange	Volume Control	Volume Control Channel A	Volume Control Channel B
3	White/Green	N/A	Volume Control Channel B	N/A
8	Brown	Ground	Ground	Ground

チャンネルごとにオプションのリモートボリュームコントロールを接続するための RJ45 レセプタクル。標準ケーブルを使用して CRC-V アクセサリを接続するか、カスタムポテンショメータをピン配置情報に接続します。305 m (1000 フィート) を超えるケーブル長は推奨されません。

シグナルウェイクアップ

アンプの電源がオンになっているが、入力信号 (信号の現在のレベルを下回る) が 20 分間受信されない場合、システムはスタンバイモードに入り、消費電力を節約します。いずれかの入力で信号が検出されるとすぐに、ユニットはスタンバイモードを終了し、通常の機能を再開します。優先ピンを短絡することにより、システムをウェイクアップすることもできます。

CPA Series はじめに



メディアプレーヤー

- ① **Bluetooth** – 短押しで Bluetooth モードに入り、長押しで Bluetooth ペアリングを開始します。
- ② **USB** – 短押しで USB モードに入ります。
- ③ **DISP** – ディスプレイのオンとオフを切り替えます。
- ④ **Brightness** – ディスプレイの明るさを 1 から 4 に調整します。
- ⑤ **Previous/Next** – を押ししてトラックリストを前後に移動するか、押し続けると巻き戻しまたは早送りします。
- ⑥ **Play/Pause** – トラックを再生または一時停止します。
- ⑦ **Volume Up/Down** – 音量レベルを調整します。
- ⑧ **Repeat** – を押しして、繰り返しオプションをスクロールします。すべてを繰り返す、現在のトラックを繰り返す、30 分ごとにメッセージですべてを繰り返す、60 分ごとにメッセージですべてを繰り返す、またはオフに繰り返します。USB モードでのみ使用できます。
- ⑨ **Record** – を押しして、記録を開始または停止します。

特別なボタン機能:

DISP を 1 秒間押し続け、Vol+ を押します。ファームウェアバージョンを表示します。

DISP を 1 秒間押し続け、Vol- を押します。デバイスのシリーズ番号を表示します。

DISP を 1 秒間押し続け、再生/一時停止を押します。Bluetooth アドレスを表示します。

Repeat を 1 秒間押し続け、Bluetooth: Factory reset を押します。

Bluetooth 操作

1. Bluetooth ボタンを押して Bluetooth モードに入ります。これは、LED がゆっくり点滅することで示されます。
2. Bluetooth モードでは、Bluetooth ボタンを押したままにして、LED が高速で点滅することで示されるペアリングに入ります。
3. デバイスで Bluetooth をアクティブにし、デバイスリストで「Lab.gruppen (XXX)」を検索します。
4. デバイスが正常にペアリングされると、LED が点灯します。
5. 音量ボタンとトランスポートボタンを使用して、トラックを選択し、レベルを設定します。
6. Bluetooth ボタンをもう一度押しと、Bluetooth がオフになります。

USB 操作

1. USB フラッシュドライブを背面パネルの USB ポートに接続します。
2. USB ボタンを押して USB モードに入ります。LED が点灯します。
3. 音量ボタンとトランスポートボタンを使用して、トラックを選択し、レベルを設定します。
4. リピートボタンを押して、上記のリピートオプションを切り替えます。30 分または 60 分ごとにカスタムメッセージオーディオトラックを再生するオプションがあります。メッセージトラックを「message_1.mp3」として USB ルートディレクトリに保存し、他のすべてのトラックをサブフォルダに保存します。
5. USB の最小要件とサポートされているファイルの種類については、仕様の章を確認してください。

録音

1. USB フラッシュドライブを背面パネルの USB ポートに接続します。
2. REC ボタンを押して録音モードに入り、もう一度 REC を押して録音を開始します。
3. もう一度 REC ボタンを押すと録音が停止し、前のメニューに戻ります。録音されたオーディオは、USB フラッシュドライブの「Record」フォルダに.mp3 形式で保存されます。

ファームウェアアップデート

1. labgruppen.com からファームウェアファイルをダウンロードします。
2. ファイルを USB フラッシュドライブのルートディレクトリに保存します。
3. フラッシュドライブを背面パネルの USB ポートに接続します。
4. 強制スタンバイ状態で、Bluetooth と USB ボタンを 3 秒間押し続けてから、電源ボタンを押します。
5. デバイスの電源がファームウェア更新モードでオンになったら、Bluetooth ボタンと USB ボタンを放します。
6. ファームウェアファイルが検出されると、ファームウェアの更新が自動的に開始されます。

JP 技術仕様

	CPA1201	CPA2401	CPA1202	CPA2402
最大出力電力				
チャンネルあたり4または8Ω	120 W	240 W	120 W	240 W
アンプチャンネル数				
数	1		2	
最小負荷インピーダンス				
4Ωモード	4Ω			
8Ωモード	8Ω			
70V出力モード	41Ω	20Ω	41Ω	20Ω
100V出力モード	82Ω	42Ω	82Ω	42Ω
オーディオ出力				
アンプ出力	2ピン Euroblock コネクタ、ステレオ		4ピン Euroblock コネクタ	
補助出力	3ピン Euroblock コネクタ		2x3ピン Euroblock コネクタ	
補助出力最大レベル	4.88 V (16 dBu)			
オーディオ入力				
優先度/ダッキング入力のあるマイク/ライン	1x5ピン Euroblock コネクタ (チャンネルA)		2x5ピン Euroblock コネクタ (チャンネルA、E)	
合計RCA付きマイク/ライン	2x3ピン Euroblock コネクタ、3xステレオRCA		4x3ピン Euroblock コネクタ、6xステレオRCA	
インピーダンス	バランスマイク/ライン: 20 kΩ アンバランスラインおよびRCA: 10 kΩ			
最大アンプ出力または最大補助出力レベルの入力感度	マイク: 0.038 V (-26 dBu) バランス: 1.23 V (+4 dBu) RCA: モノサムRCAでそれぞれ0.62 V (-2 dBu)			
最大入力レベル	4.88 V (+16 dBu)			
マイクファントム電圧	48 V			
コントロール				
前面	電源スタンバイボタン、入力および出力ゲインコントロール、トーンコントロール - 低音と高音、Bluetooth オーディオコントロール			
リア	負荷構成 (-4Ω/8Ω/70V/100V)、切り替え可能な80Hzハイパスフィルター、マイク/ラインスイッチ、vox/ダッキングしきい値制御、ファントム電圧、入力ルーティング (2チャンネルモデルのみ)			
トーンコントロール				
ベース	±10dB @ 100 Hz			
高音	±10dB @ 10 kHz			
指標				
力	オン (青)、強制スタンバイ (赤)、スタンバイ (黄色)			
入力				
信号 (緑色LED)	>12.3 mV (-36 dBu)			
障害 (赤色LED)	クリップ			
主人				
信号 (緑色LED)	> -50 dBu			
障害 (赤色LED)	過熱、DC障害、過電流など			

	CPA1201	CPA2401	CPA1202	CPA2402
ブルートゥース				
周波数範囲	2402-2480 MHz			
チャンネル番号	79			
Bluetoothバージョン	4.2			
受信範囲	最大15m (45フィート)			
出力電力	10 dBm			
サポートされているコーデック	SBC			
サポートされているプロファイル	AVRCP 1.4、A2DP 1.2			
USBドライブの要件				
タイプ	USB 2.0			
最小容量	1.0 GB			
最小速度	読み取り12MB/秒、書き込み7MB/秒			
サポートされているファイル形式	AAC、WMA、MP3、WAV			
システム				
出力回路タイプ	クラスD			
リモートコネクタ	1xRJ45イーサネットコネクタ		2xRJ45イーサネットコネクタ	
パフォーマンス				
歪み、1/8定格電力	<0.5%			
周波数応答	20 Hz ~ 20 kHz、+0.5/-2 dB			
クロストーク (2チャンネルモデル)	>70 dB			
信号対雑音比	>95 dB			
ハイパスフィルタ	80 Hz HPF			
回路保護				
冷却	対流冷却、ファンレス			
アンプ保護	熱保護、過電流保護、DC保護			
負荷保護	制御された開始およびシャットダウン動作、DC障害保護			
電源、電圧 (ヒューズ)				
主電圧	100-240 V ~、50/60 Hz		100-240 V ~、50/60 Hz、有効力率補正あり	
ヒューズ	T 3.15 AL 250 V	T 6.3 AL 250 V	T 6.3 AH 250 V	T 10 AH 250 V
消費電力定格電力の1/8@4Ω	50 W	60 W	100 W	140 W
メインコネクタ	標準IECコネクタ			
寸法 (H x W x D)				
寸法 (H x W x D)	44 x 437 x 248 mm (1.7 x 17.2 x 9.8")			
重量	3.1 kg (6.8ポンド)	3.2 kg (7ポンド)	3.6 kg (7.9ポンド)	3.6 kg (7.9ポンド)
終了	ブラッシュドブラックアルマイトアルミニウムシャーシ、ブラック塗装スチールボトム			

入力からオーディオソースを接続または切断するとき、特にMIC/LINEスイッチからMICを選択するときは、常にすべてのレベルを最小にするようにしてください。そうしないと、アンプやスピーカーが保護モードになり、損傷する可能性があります。

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MusicTribe ディーラーがお客様のお近くにいるときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MusicTribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

